



## 経済における豊かさの創造

令和6年1月27日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

インダストリー4.0における生産性の向上は、安価な生活物価を与え、IoTとデジタル化における新しい効率性は、生活の向上を与える。エネルギー革命は、安価な生活支出における高い向上を与えるものである。

これらはデジタルソサエティという新しい効率的な現実を基盤とし、新しい社会と生活を求めることは、未来という新しい現実の一步なのである。

これらは現状の革命的变化への正しい考察なのである。これらが自由経済システムにおける未来の創造であることは留意されなくてはならない。

経済はその豊かさを創造する。これらは向上と進歩が未来の創造を有するのである。

これらにおける正しい経済政策は、新しい未来という現実を可能とするのである。

これらは自国経済への計画性を求め、政治的な判断と決定を基盤とし、産学官の連携における、経済環境の再編と新規基準における経済活動の構築を提案できるのである。

これらは経済への意味と価値が飛躍的に重要になっていることを意味する。これらは経済における安全保障という新しい現実を有するのである。

これらにおいて、経済における政策の構築が、その意図と計画性において要求されることを意味するものである。

他方においてはグローバリゼーションにおける世界の標準化が存在する。これら経済の統一は、自由貿易システムとともに、その統一化を有するのである。経済は資本主義における自己を有する限りにおいて資本がこれを有するのである。これが国際金融資本における意味と価値なのである。

これら資本政策と金融政策、経済政策は、国家に未来を与える現実であり、新しいビジョンや基準において自己を要求されることは否定することはできないのである。